

わが街みどりい

令和7年1月1日
第53号
発行
緑井学区社会福祉協議会
緑井一丁目6-1(緑井駅前サロン内)
(082-876-4360)

新年のご挨拶

緑井学区社会福祉協議会会長 濱本康男

LMOで地域の絆を深く

緑井学区の皆さま、新年明けましておめでとうございます。
緑井学区社会福祉協議会は昨年2月、広島市の地域運営組織「ひろしまLMO」の認定を受け、新しい活動を始めました。LMOは、市内各小学校区を単位に、地域の様々な活動団体(町内会、体協、子ども会、PTAなど10数団体)が社協を中心に集まり、各団体が共同・協力して地域の課題を解決しようという広島市独自の試みです。市内140学区の内、これまで認定されたのは49学区で、安佐南区では緑井を含め8学区が認定を受けています。今年度、本格的にスタートした緑井学区では、LMO導入により地域の団体間の日常の連携が深まる効果が出ています。資金面でも、市からの年間最大600万円の助成金は地域活動の大きな助けとなっており、緑井でも助成金を活用して2人のLMOスタッフを配置することができました。社会の少子・高齢化が進み、町内会加入率も低下するなど、今、地域を取り巻く環境は以前と比べ厳しさを増しています。こうした中だからこそ、地域での互助、共助の大切さに今一度目を向ける必要があると考えています。社協としてもLMOへの参画を機に、地域の絆をより一層強くすることができる事業に幅広く取り組んでいくことにしていますので、今年も緑井学区の皆さまの一層のご協力をお願いします。(大下町内会長)

八敷福祉会 会長職務代理 中川剛彦

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、土砂災害から十年目の年で、八敷公園が防災機能を持った公園として拡張整備されるとともに、八敷会館も築22年を迎え外壁塗装工事を行うなどリニューアルしました。これらを会場に「LMO事業」を活用して、グラウンドゴルフ大会、三世代ウォーキングを実施することができたことは大変うれしく思っています。
本年も、八敷公園・八敷会館が地域づくり活動の拠点となり、地域の人たちと一緒に「明るく・元気な八敷」を築いていきたいと思ひます。

中組町内会会長 引地正明

昨年中はお世話になりました。
さて、昨年も町内の皆様の「ふれあい」や「連帯感」をキーワードとして運営してまいりましたが、特筆はLMO事業への申請・展開でしょう。その中で「お助け隊」の立ち上げで庭の草抜きや剪定等困りごとを応援してきました。また、8月4日町内独自で開催した盆踊りフェスティバル、会場の専蔵坊さんの駐車場は予想外の人出で盛り上がりました。まさに町内会の底力を垣間見た思いです。
本年もご参加・ご協力・ご提言を賜る中で、安心安全な町づくりに努めて参りたいと思ひますので宜しくお願ひ申し上げます。



岩谷町内会会長 吉岡一司

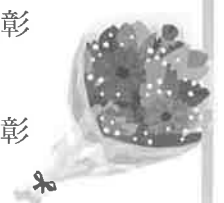
明けましておめでとうございます。
先ずは、昨年10月に新たに「岩谷公園集会所」を皆様方の多大なご支援ご協力により開所する運びとなり、心より感謝、お礼申し上げます。
今後は、2つの集会所を効率よく活用しながら岩谷地区をより元気に楽しくしたいと思いますので、どしどし申し出て下さい。町内会では住民が主体となり、生き生き百歳体操をはじめ体力測定など、健康第一をモットーに町内会が元気で学び合う場所に、と思っています。皆様方の活力が町内の活性化になると信じています。皆様と共によりよい町内会にしましょう。

日吉町内会会長 松浦馨

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
少子、高齢化が言われて久しい状況ですが、そんななか、お隣さん、ご近所の方々への優しい目配り、気配りを通して、安全で、安心な町でありたいと考えております。日吉が優しい町内会として日々過ごせますように、今年もよろしくお願ひいたします。

受賞おめでとうございます

- 広島県社会福祉協議会会長表彰
今村 隆太郎 さん(岩谷)
- 広島市社会福祉協議会会長表彰
濱尾 隆 さん(大下)
- 安佐南区社会福祉協議会会長表彰
楫 智子 さん(岩谷)



LMO活用した地域交流

お気軽にご参加を

緑井社協では、広島市の地域支援制度「ひろしまLMO」の認定を受けて、今年度から市の助成金を活用したコミュニティ活性化のための事業を進めています。今年度は全部で12事業を予定しており、12月までに9事業を行いました。これまでに実施済のもの、通年実施中の事業の一部をご紹介します。

■緑井お助け隊

日常のちょっとした困りごとを解決するために、予め登録した人材を派遣する有償のサービスです。草取り、庭木剪定など14のサービスに対応しています。駅前サロンで受け付けます。



■地域猫推進事業

適切に管理しないと増え続ける野良猫を、地域の協力で捕獲し不妊去勢手術をするなどしたのち、地域猫として地域で餌やり、トイレ管理などしていこうという活動です。各町内会と協力して取り組んでいます。(4ページに関連記事)

■良き師の話を聞く会

緑井には多くのユニークな人材が住み、働いています。こうした緑井の「お宝人材」にこれまでの体験・経験をお話ししていただく講演会を開催しています。全4回で、これまで3回開催しました。



■八敷公園完成式典とグラウンドゴルフ大会

2014年8月20日の広島土砂災害から10年。平時は住民の交流や憩いの場として、災害時は避難場所として活用する公園の拡張工事が完了したことを記念し、7月7日、松井市長の参加のもと150人が参加して式典とグラウンドゴルフ大会を行いました。(写真は、松井市長による始球式)



■ミニソフトバレーボール教室 親善ソフトバレーボール大会

9月28日、小学生を対象にバレーボールの楽しさを知ってもらう体験教室を緑井小学校体育館で開きました。30人が参加。初めて体験する子供も多く、保護者を交えて半日、交流を深めました。また、11月24日、緑井学区親善ソフトバレーボール大会を開催しました。50名の参加があり、大変盛り上がった大会になりました。



6年度は12事業を予定

■スポーツ体験交流会

10月6日、緑井体協が主催し、緑井小学校体育館で中高生卓球大会を行いました。約40人の参加者が半日、思い思いに卓球の楽しさを満喫し、中高生の交流を深めました。



ターや区の保健師などの協力のもと、介護・健康相談や歩行測定など防災と健康をテーマにした多彩な催しもありました。約350人が参加し、各コーナーでは実用的な防災グッズなどが配られ、好評でした。



防災ビンゴゲームに挑戦



セセラちゃんと遊ぶ

■親善グラウンド・ゴルフ大会

10月20日、学区内の親善を図ることを目的に、中組町内会が主催し緑井小学校を会場に行いました。約100人が参加しました。



防災備蓄倉庫を見学 グラウンドゴルフの表彰式

■3世代交流ウォーキング

広島土砂災害発生を受けて緑井地区に整備された2か所の砂防えん堤を3世代で巡るウォーキングを、11月17日、国土交通省の職員の方の案内のもと、45人が参加し実施しました。「土砂災害の危険性と安全の確保のためにすべきこと」として、「備える」「危険な状況になる前に避難する」ことの大切さを学びました。



■ふれあい交流会

「学区ふれあい交流会」を11月4日、緑井小学校で開催しました。屋外ではグラウンドゴルフ大会、体育館では防災イベントとして「非常食体験」「セセラちゃんと遊ぼう」「防災ビンゴゲーム」「段ボールベッド体験」「備蓄倉庫ツアー」などを実施。包括支援セン



地域猫にご理解を

活動ボランティア募集中です

緑井社協では各町内会と連携し、地域で野良猫を管理していく「地域猫活動」を進めています。野良猫は、かつて捕獲し殺処分していた時代もありましたが、近年は動物愛護意識の高まりとともに、地域で野良猫を適切に管理しその寿命を全うさせようとの考えのもと、「地域の環境問題」としてこの活動に取り組む地域が増えています。地域猫活動には、何より緑井地区に暮らす皆さん相互の理解と納得、協力が必要です。社協や各町内会では、この活動に協力していただけるボランティアを募集しています。猫や動物が好きな方のご協力をお待ちしています。

Q. 地域猫活動とは？

地域住民が主体となって、野良猫に不妊手術をするなど適切に管理して野良猫の数を減らし、住みよい住環境をつくる地域活動です。

Q. みんなが野良猫に餌をやらなければいなくなるのでは？

餌をやる人がいなくなっても野良猫は餓死するわけではなく、ゴミをあさったり他の地域に移動したりするので、問題の解決にはなりません。

Q. 誰がその活動をするの？

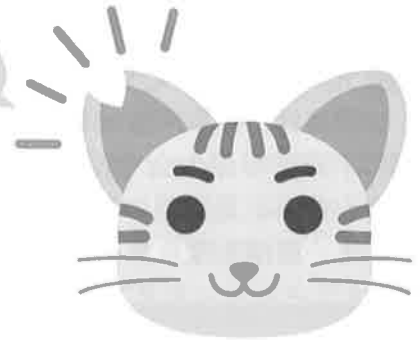
活動は実際に野良猫がいる地域の住民が主体となって行います。猫好きな住民ばかりが暮らしているわけではありませんが、中には「動物のためなら」「住みよい地域になるなら」と、協力してくれる人はいます。最初は少人数でも、こうした人を募って活動を始め、徐々に近所の理解を得ながら協力者を増やしている地域が多いようです。

Q. 活動の内容は？

野良猫の被害で困っている場所に捕獲器を置き、捕獲された野良猫を地区のボランティアが市の動物愛護センターなどに運んで不妊去勢手術をします。手術した猫はおとなしくなり、ケンカや発情の声が減り、尿においも薄くなるといわれています。

手術した野良猫はもう一度もとの地域に戻し、餌やりやトイレの設置・管理をして一代限りの地域猫として寿命を全うさせます。猫は年に2、3回、1回に4～6の子猫を産むといわれますので、数を減らすには不妊去勢手術が有効かつ必要です。実際、緑井地区では

手術した猫の耳の先をカットします。



この8年間に地域猫ボランティアの方の手で約300匹の野良猫を捕獲し、不妊手術などしています。猫の捕獲については、まずは各町内会長にご相談ください。

Q. 捕まえた猫を、なぜ地域に戻すのか。市で処分したら？

猫は「動物愛護管理法」で愛護動物とされ、現在は市でも殺処分を目的に捕獲することはできません。手術済みの猫を元の地区に戻すのは、手術済みの猫にその地域のテリトリーを守らせ、別の場所からの野良猫の侵入を防ぐという意味もあります。

Q. 普段の地域猫の世話は何を？

時間を決めてエサを与え片付けをすること、ふん尿被害を防ぐためエサ場の近くに猫用トイレを設置・管理すること、が主な活動になります。

岩谷公園集会所が完成

令和6年10月11日に新しい岩谷町内会の集会所が完成、利用が始まりました。場所は緑井三丁目緑井公園内。岩谷地区の集会施設は毘沙門堂研修会館と合わせて2施設となります。広さは約60㎡。建設費は町内会と市からの補助金でまかなわれました。

岩谷地区の住民利用は原則無料、地区外者の利用は有料です。問い合わせは、吉岡一司町内会長(090-7979-9237)まで。

